

1. 総評

(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】

教職員の大規模な異動もなく、全児童指導に公平な学級編成システムで順調に始業することができた。前年度の学校生活全般は、年間を通して落ち着いた環境を維持することができたと思える。しかし学習面においては、学力調査等を通して、基礎・基本に関わる部分での再点検を必要とする児童数が特定されつつある現状であった。これは、指導側の姿勢も問われるところであり、授業改善を柱としながら補充指導体制や大局的な児童指導（生活指導）の抜本的な改革が必要とされる課題が残った。

(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組の概要**重点的な取組事項－1 基礎的・基本的な学力の向上**

・西二タイム（個別指導）の充実 ・放課後等の補習学習 ・家庭学習の定着化

重点的な取組事項－2 豊かな心の育成

・心の教育の充実 ・学校生活におけるきまりの定着 ・学級活動の充実 ・縦割り班活動
・ボランティアマインドの醸成

重点的な取組事項－3 体力の向上

・日常的な体育的活動の充実、工夫・改善 ・日常的な運動遊びの奨励
・季節の体育的活動の充実、工夫・改善と、自らを鍛える意識の育成

(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性**重点的な取組事項－1 基礎的・基本的な学力の向上**

（成果）区内学力調査において、正答率・通過率ともに概ね平均ライン（或いはそれ以上）を維持。
（課題）学習に関する特定児童の顕在化と、基礎・基本を活用する能力の育成。参加意識の希薄さ。
（方策）「補充ありき」の発想を脱却させ、「授業第一」の基本に立ち返り、西二タイムの廃止等の改革実施。

重点的な取組事項－2 豊かな心の育成

（成果）きまり・思いやりに対する意識の向上。学校を楽しんでいる児童。（アンケート結果 80%超）
（課題）いじめ・SNS関連トラブルの発生。
（方策）計画的な心の教育と、状況に即応した臨機応変なその場での指導の徹底。

重点的な取組事項－3 体力の向上

（成果）運動や体を動かすこと、外遊びが好きな児童。（アンケート結果 80%超）
（課題）全国体力調査の結果から全国平均を下回り、特に持久力の結果が低い。
（方策）持久力の向上について、精神論ではなく成就感や楽しさに視点をあてた指導方法を検討。

(4) 保護者や地域へのメッセージ

この地域に開校して平成31年度で55年目となる本校ですが、みなさんのご理解ご支援の元で無事に運営が行われております。子どもたちの様子も比較的落ち着いており、各学級の授業も毎時間成立しています。

しかし、詳細に関して考察すると、学習面においては日常の授業や放課後等の補充指導等の取り組みを実施しながらも、未到達である児童の特定化や全般的な活用力の低さ等、教員の指導への取り組みも含めて検討改善の課題があります。外国語（英語）の授業についての取り組みも活性化させ、児童の興味関心・意欲向上への一端にしたいと思えます。

豊かな心の育成や体力向上については、2020東京大会を一つの契機として、オリンピック・パラリンピック教育と関連させながら展開して来ましたが、アスリートとの交流や講演会、日本文化の再認識、による心の教育、朝スポーツやアクティブタイムの実施などスポーツに対する意識促進などを行って来ました。しかし実際には、いじめの現状があり、全校児童平均の体力は未だ全国平均と比較すると高いものではありません。現状分析を行い、次年度につなげていきたいと現在検討をしております。

2. 平成30年度の重点的な取組事項

＜達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る＞

重点的な取組事項－1 基礎的・基本的な学力の向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
国語・算数を中心に学習内容を定着させ、理解度を向上させる。	区学力調査平均通過率を越える	正答率・通過率ともに概ね平均を満たすことができた。	特定の学年に問題解決の重点を置く必要性が見えた。	○	
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
別紙「平成30年度学力向上アクションプラン」評価シート参照					

重点的な取組事項－2 豊かな心の育成

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
思いやりのある優しい子の育成	年間計画の100%+ α の実施	学校関係者評価（児童）で高評価が90%を越えた。	オリ・パラ授業など教員の努力が多く見られた。	○	
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の充実	①人権尊重教育の年3回の実施 ②幼保小の交流	①いじめ防止月間6・11・2月の活用 ②児童の活動場面設定	計画通りに実施できた	同年齢間のトラブルが数件発生した	△
きまりの定着学級活動の充実	・規範意識を85%以上が気づける。	学級活動・道徳の授業を中心に学びを深めさせる	数値上は90%を超える	実際にいじめ等が発生した	△
異年齢割り（仲良し班）活動	児童による高評価を80%以上にする	全校遠足や年3回の活動	計画通り実施	異年齢指導は効果的である	○
ボランティアマインドの醸成	オリ・パラ教育交流行事の設定	パラスポーツを中心としたスポーツ交流と講演会	交流会の機会が増やせた	外部講師との交流も効果的	◎

重点的な取組事項－3 体力の向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
運動することが好きな子を増やす。	学校関係者評価（児童）での高評価85%越え。	現状に即して、工夫・改善の繰り返しを継続した	児童の興味関心に即応できるきょう	○	
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
日常的な体育活動の充実、工夫・改善	1年間の継続的・計画的指導の実践	・朝スポーツ ・アクティブタイム	P D C A に従い随時改善実施	常に改善を意識した	○
日常的な運動遊びの奨励	外遊びを好む児童の90%越え。	・全児童、全教師と共に校庭に出る	高評価の児童が90%を越えた	大人が共に活動する重要性	○
季節毎の体育的活動の充実	活動に対する肯定的見方75%越え。	・長縄、短縄、持久走等、季節毎に変化	高評価の児童が90%を越えた	適切な評価と意欲促進	○

3. 学校活動全般について

児童の生活状況は落ち着いており、大事に至る事件事故の発生もなかった。その中で、授業や行事等の活動も年間計画に即して実施できた。加えて、オリンピック・パラリンピック教育交流会の追加実施など、児童の状況に応じて積極的な取り組み姿勢を教職員全体で意識できた1年間であった。